

平成28年度

ふじのくに

グローバル人材



育成事業



静岡県教育委員会

SUCCEED IN THE WORLD

— 世界へはばたく —

ふじのくにグローバル人材育成基金

急速にグローバル化が進み、目まぐるしく国際情勢が変化する中、本県が地域間競争に勝ち抜き、持続的に発展していくためには、世界に目を向けながらも地域社会の発展に貢献できる人材の育成が求められています。

また、子どもたちの海外に対する知的好奇心を養うためには、国際感覚豊かな教職員による教育も重要です。

静岡県教育委員会では、一人でも多くの高校生や教職員の「海外で学びたい」という希望を実現させるため、「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設しました。

— この取組を未来に繋げていくために、皆様の御支援・御協力をお願いします —

国際感覚豊かな人材の育成

長期留学・短期留学

高校生が意欲を持って、自ら進んで参加する留学の経費を支援します

グローバルハイスクール研究指定

特色のある先進的なグローバル教育を展開する指定校を支援します

教職員の海外研修

海外の教育機関等において、指導力や専門性を向上させるための研究の取り組む教職員を支援します

ものづくり県の次代を担う人材の育成

海外インターンシップ

県内企業の海外事業所等における就労体験事業を支援します



ものづくり世界大会等への参加

ものづくり等の世界大会に参加する高校生を支援します

— 参加者の声 —

◆ 今回の留学を実行しようと決断するまでに半年かかりました。自分の語学力に自信が無いくもありましたが、それ以上に、留学することで両親に経済的な負担をかけてしまうと感じたからです。両親は快く賛成してくれましたが、自分の想像よりはるかに多くの費用がかかることを知り、本当に行ってもいいものか悩みました。

そんな時、学校で「ふじのくにグローバル人材育成基金」が紹介されました。この事業は、私のように金銭面で悩んでいる人と留学を結びつける大きな架け橋になるものだと思います。サポートしてくださった方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

◆ 今回の留学で「ふじのくにグローバル人材育成基金」の御支援をいただき、自分の夢に近づくことができました。今考えると、自分の力だけでは成し遂げることができなかつたと思うので、心から感謝しています。

帰国後は、今回の留学の体験をクラスで発表しました。この留学で学んだ英語の大切さなどを、これからも多くの人に伝えていきたいです。

— 「経験」が「誇り」に —

静岡県立静岡商業高等学校 2年

長島 由季



私は今回のオーストラリア留学を体験して、とても満足しています。今回の留学で得られたものはとても大きく、一生の思い出になりました。

留学初日、私の心の中は、「自分の気持ちを十分相手に伝えることができるか」「上手にコミュニケーションをとることができるか」という不安と、海外の文化や習慣、ネイティブの英語を肌で感じるという嬉しさで頭がいっぱいでした。

私のホームステイ先の女の子（バディ）はとてもフレンドリーで、初対面でも笑顔で会話をしてくれて、親しみやすかったことを覚えています。

学校の授業には私が学んだことがない教科もあり、特に「メディア」という授業では、学校にある模擬スタジオで生徒が自ら収録し、それを編集するという作業をして、とても面白いと思いました。

登下校中も話は尽きず、バディのお友達の話や家族の話、内緒話など、数え切れないほどたくさんのお話をしました。



オーストラリアに着くまでは、親と離れて暮らす不安が募り、帰りたいたすら感じていた私の心も、オーストラリアで数日間を過ごし、別れの日が近づいてくるにつれ、「まだ一緒にいたい」「帰りたくない」と思うようになってきました。

そして最終日。出発は夜でしたが、朝から憂鬱で本当にホストファミリーには迷惑をかけたと思います。

夕方になり、荷物のパッキングを済ませ、送りの車の中で私は号泣しました。本当に辛いお別れでした。

今思えば、ここまで辛いお別れができたということは、それほど現地で過ごした毎日が充実していたのだなと改めて感じます。そのような経験をできたことは本当に私の中で誇りであり、最高の思い出です。

留学するまでに悩んだことは本当にたくさんありましたが、あの時諦めずに留学することを決意したことは正解だと思っています。

長期留学・短期留学

高校生が意欲を持って、自ら進んで参加する留学の経費を支援します

— 挑戦する勇気 —

静岡県立裾野高等学校 2年

飯田 李善



私は、昔から外国の文化に興味があり、日本との文化の違いを身を持って体験したいと思っていました。

そして何より、これまで挑戦したことがない体験をすることが、自分自身の成長につながると思いました。これまでの私は、頭の中で考えていることがあっても、なかなか勇気を出して挑戦することができませんでした。今回、日本を飛び立つことで、自分自身を変える一つのきっかけにしたいと考え、海外インターンシップ事業に参加しました。

臼井国際産業株式会社のタイ工場は、日本の工場と違う点が数多くありました。タイ工場では床を色分けして安全な場所を通れるように配慮したり、ゴミを7種類に分別できるよう視覚的に見やすくしてあったり、何より衛生面にとっても配慮していて、工場内がとても綺麗だったことに感動しました。

タイ工場以外にも、タイ国内の観光地を回りました。印象的だったのは、タイ人の明るい国民性です。工場に初めて入った際も、多くの方が笑顔で温かく歓迎してくれ、観光地を巡った際も優しく案内をしてくれました。



私は、海外インターンシップを通じて、高校生が海外に目を向けることの大切さに加え、語学力の大切さも痛感しました。タイに限らず、もっと海外の文化や人々のことを知りたい、関わりたいと強く思いました。

帰国後は、全校生徒の前で発表もしました。今回の経験が自分の成長につながったことを同世代の仲間達に伝えることができました。



国内での研修、タイでの研修、タイの方々との交流、他校の生徒との意見交換、帰国後の校内での体験発表といった経験を通じて、以前より自信をもって行動できるようになりました。

日本やタイで私達を受入れてくれた工場関係者の皆様には本当に感謝しています。ありがとうございました。

海外インターンシップ

県内企業の海外事業所等における就労体験事業を支援します

— 世界大会へ挑戦 —

静岡県立沼津工業高等学校 3年

長田 千聖
加藤 樹生



私たちは、ロボカップ世界大会に日本代表として出場しました。ロボカップは、人間による操縦を受けずに、独自の判断で動くロボットによる競技会です。私たちが参加した「コススペースレスキュー競技」は、プログラミングによってロボットを動かし、被災者に見立てたカードを救護所に搬送し、その得点を競います。

私たちのチームは、イラン、イギリスと戦った予選を1位で勝ち抜きましたが、決勝トーナメントの初戦でスロベニアに負けてしまい、結果はベスト8でした。



世界大会への挑戦に向けて、放課後の部活動ではプログラミングの完成度を高めることに加え、プレゼンテーションの練習や英語の発音の勉強に取り組んできました。しかし、世界大会は思っていた以上にレベルが高く、同時に英語を聞き取り、話すことの難しさを痛感しました。

決勝トーナメントで力を発揮することができず、目標を達成することができませんでした。これまで十分に準備をしてきたつもりでしたが、もっとできることがあったのではないかと後悔しています。

しかし、英語を使って海外の選手と交流したり、ドイツの文化に触れることができるなど、この世界大会に出場するために費やした時間と努力は無駄にならないと思っています。

また、決勝トーナメントでの敗北を通じて、私たちの未熟さを痛感し、自惚れていたことに気づくことができました。



後輩たちには、私たちの失敗も含め世界大会の経験を伝えていきたいです。そして、来年こそは世界制覇を果たしてもらいたいと思います。

最後に、このような貴重な経験ができたのは、顧問の先生方の指導や、「ふじのくにグローバル人材育成基金」の支援があったからです。この経験を糧に、これからも日本や世界で活躍できる人材になりたいと思っています。

平成28年度

グローバル人材育成事業派遣実績

区分		概要	派遣者数
国際感覚豊かな人材の育成	海外体験促進	長期留学 海外の教育機関に語学等の専門分野の留学を体験するための経費の一部及び研修費を補助 【期間】 1年程度 【補助額】 上限 30万円	5人
		県内大学と連携した留学 県内大学と連携して、大学が実施する各種留学・語学研修等に参加するための経費の一部を補助 【期間】 2週間以上1か月程度未満 【補助額】 上限 30万円	6人 (引率1)
		短期留学 学校、市町、NPO等の民間が実施する語学研修、ボランティア活動等に参加するための経費の一部を補助 【期間】 2週間以上1か月程度未満 【補助額】 上限 30万円	23人
	教職員の海外研修 教職員が海外での教育機関等で専門分野や現代的な課題の研究等を行うための経費の一部を補助 【期間】 1週間以上1か月未満 【補助額】 上限 50万円	6人	
	グローバルハイスクール「研究指定」 学校の特色を生かした研究課題を海外の大学や研究機関等と連携してフィールドワーク等を実施する指定校への補助 【指定期間】 3年 【指定校数】 1校程度	37人	
ものづくり県の次代を担う人材の育成	海外インターンシップ 専門高校及び総合学科高校の生徒を対象に県内企業の海外工場における就労体験等を実施 【期間】 県内グローバル企業研修(2日間) + 海外就労体験(3泊4日) 【対象】 県内の専門高校(工業、商業等)の2年に在学する就職希望生徒	18人 (引率3)	
	ものづくり世界大会等への参加 ロボット競技等のものづくりに関する世界大会へ参加する生徒等への旅費、材料費等を助成 【対象】 県内の専門高校(工業、商業等)に在学する生徒のうち関連する世界大会へ参加する者	2人	
合計			97人